

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>・中等教育学校における教育課程の基準の特例等を活用し、6年間の一貫した教育課程を編成し、多彩で豊かな教育内容の展開を通じて、個性や創造性の伸長を図るよう、カリキュラム・マネジメントに取り組む。</p> <p>・教科・科目の学習を通して知識・技能を基礎としながら、自ら課題を見出し、課題を解決するため、他者と協働する学習に取り組み、自然を探究する学習を通して、組織的な授業改善を推進し、科学的・論理的思考力の育成に取り組む。</p>	<p>①「主体的対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)に向け、組織的な授業改善に取り組む。後期課程における100分授業の授業展開・内容の研究と実践を行う。</p> <p>②6年間一貫教育を活かしたカリキュラムを構築し、継続して系統立てた指導ができるようにする。</p>	<p>①教科会を計画的に実施し「主体的対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)を実現するための授業展開、効果的な100分授業の展開・内容を検討し実践する。</p> <p>②教科長会を「学びPT」と位置づける。教科を横断した観点を持ち、6年間一貫教育のカリキュラムを構築する。</p>	<p>①教員が授業の中で「主体的対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)を実践する割合が昨年度より増加したか。</p> <p>②学校として6年間の一貫した教育内容を構築できたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>・学年の枠を超えた活動などを通じて、思いやりの心を持ち、高い規範意識を持ち、自ら進んで未来を切り拓く意欲や行動力あふれる、豊かな人間性とリーダーシップを備えた次世代を担うリーダーを育成する教育活動を充実する。</p> <p>・教育相談コーディネーター・スクールカウンセラーを中心とした組織的な教育相談体制を活用し個に応じた支援を充実させる。</p>	<p>①「あいさつ、時間、整理整頓」への意識付けを道徳や朝会などの機会を利用して行い、基本的な生活習慣を確立する。また、いじめの早期発見に努めいじめ防止に取り組むとともに、生徒一人ひとりの心に寄り添うコーチングの姿勢で支援する。</p> <p>②教育相談コーディネーター・スクールカウンセラーを中心とした組織的な教育相談体制を活用し、情報の共有化やケース会議等を実施し個に応じた支援を充実させる。</p>	<p>①3か月に一度の割合で「あいさつ、時間、整理整頓」の強化月間を設け全職員が重点的に指導にあたる。</p> <p>また、いじめの早期発見のために年度初めにいじめに対する認識を全職員で共有し、防止に向けて全職員で組織的に取り組むことができる体制を保つ。</p> <p>②教育相談コーディネーター・スクールカウンセラーと指導グループの情報交換を密にし、またスクールソーシャルワーカーも積極的に活用し、個に応じた支援を充実させる。</p>	<p>①3か月に一度の割合で強化月間を設け、「あいさつ、時間、整理整頓」に対して学校全体で指導にあたることができたか。</p> <p>またいじめの早期発見に向けて組織的な体制を保つことができたか。</p> <p>教職員が生徒一人ひとりの心に寄り添うコーチングの姿勢で支援できたか。</p> <p>②教育相談コーディネーター等と2週間に一度は情報交換を行い個に応じた支援を常に行える体制を保つことができたか。</p>					

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備え、よりよい社会の構築に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材の育成に取り組む。生徒一人ひとりのキャリアプランニングの充実にむけ支援する。 ・段階的・系統的な進路指導を実施し生徒の進路意識を高め、生徒の高い進路希望の実現に向け組織的な支援をする。 	<p>①『総合的な学習の時間』では「キャリアプランニング」と「探究活動」を位置づけ発達段階に応じたキャリアプランニングと主体的に課題を解決する姿勢を身に付け社会に貢献する次世代を担うリーダーの育成に向け取り組む。</p> <p>②進路ガイダンスや学部学科研究等前期課程から計画的な進路指導を行い生徒の進路意識を高め、国公立大学受験をはじめ生徒一人ひとりのより高い進路実現に向けて組織的に取り組む。</p>	<p>①前期課程の『総合的な学習の時間』の成果を活かし、後期課程での「自己発見チャレンジ」および「かながわ次世代教養」において、自己の興味・関心または将来の目標に関連したテーマを設定し、より充実した探究活動を目指す。</p> <p>②「進路のてびき」を作成し、進路ガイダンスを計画的に実施することで生徒の進路意識を高めるとともに、生徒一人ひとりと進路相談を行うなど、進路実現に向けた支援体制を整える。</p>	<p>①前期課程の取組みが、後期課程での「自己発見チャレンジ」および「かながわ次世代教養」でのテーマ設定につながり、将来の目標を見据えた探究活動ができたか。</p> <p>②今年度の卒業生のうち、70%以上の生徒が進路希望を実現したか。</p>					
4 地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の小・中学校や大学、研究機関、企業、NPO法人等外部機関と連携し協働する取組を推進する。 ・6年間の一貫教育の本校の魅力を広く県民に広報し、開かれた学校づくりを推進する。 	<p>①地域の大学や研究機関だけでなく、PTAと連携した教育活動を充実させる。部活動や委員会などの地域と協働した活動の充実を図る。</p> <p>②相模原中等教育学校の特色ある教育内容を広報し、開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>①PTAとの関係を強化し、特別土曜講座の講師として招聘するなどの策を講ずる。地域と協働した美化委員会の活動の充実を図る。地域の大学や研究機関等と連携し、特別土曜講座の内容を充実させる。</p> <p>②学校の魅力や行事等を、説明会、授業見学、ホームページ、学年通信等で効果的に伝える。</p>	<p>①学校内の活動に、より深くPTAが関わることができたか。また地域での活動により、生徒と地域との交流が深まったか。特別土曜講座のアンケートにおいて、肯定的評価が8割以上だったか。</p> <p>②保護者の来校機会が昨年度より増加したか。学年通信等を定期的に発信し効果的に活用できたか。</p>					
5 学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員としての高い使命感・倫理観を持ち服務規律を遵守するとともに、各グループ・学年を超えた協働体制を整え全職員が責任・使命感を持ち、入学者決定業務、個人情報保護や適正な会計処理等事故・不祥事防止に取り組む。 	<p>①入学者決定業務において採点等改善策を検討・実践する。</p> <p>②事故・不祥事防止研修、いじめ・体罰防止研修、会計処理研修等の職員研修を適切な時期に計画し実施する。</p>	<p>①入学者決定業務における昨年度の課題を共有し、改善を図る。事故ゼロの継続に向け組織的に取り組む。</p> <p>②職員研修の年間計画を立てて実施する。</p>	<p>①入学者決定業務において、組織の一員として協働意識を向上させ、事故を未然に防ぐという意識を持って行動したか。</p> <p>②事故・不祥事防止研修、いじめ・体罰防止研修、会計処理研修を年間計画に従って開催し、職員に注意喚起することができたか。</p>					